



2025年12月期 中間決算説明資料

2025年9月11日
市光工業株式会社

VISION IN MOTION



目次

- ① 2025年12月期 中間決算概要(2025年1月～6月)
- ② 2025年12月期業績見通し(2025年1月～12月)
- ③ 持続的な企業価値の向上に向けて

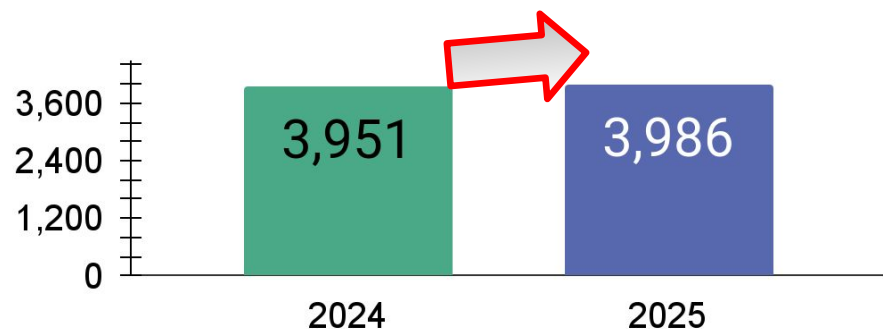
01 2025年12月期 中間決算概要 (2025年1月～6月)

売上高とマーケット生産台数(前年同期比較)

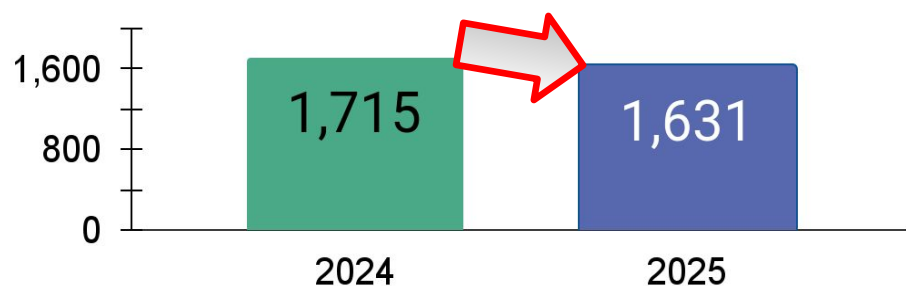
2025年上期マーケット生産台数 *

単位:千台

Japan 前年比 0.9%



ASEAN 前年比 ▲4.9%



*出典 マークラインズ

2025年度上期売上高対マーケット生産台数

2025 vs 2024	当社 売上高 (金型売上、為替 影響除く)	マーケット 生産台数 増減率	売上高対 マーケット生産台数
Total	▲2.3%	▲0.9%	▲1.4ポイント
JAPAN	▲2.2%	0.9%	▲3.1ポイント
ASEAN	▲2.5%	▲4.9%	2.4ポイント

- ・市光グループ: 日本+アセアン
- ・日本: 市光単体
- ・アセアン: マレーシア, インドネシア, タイ

アセアンの対前年比売上高は **市場比、落ち込み少**
日本では **市場横ばい**に対して売上高減少

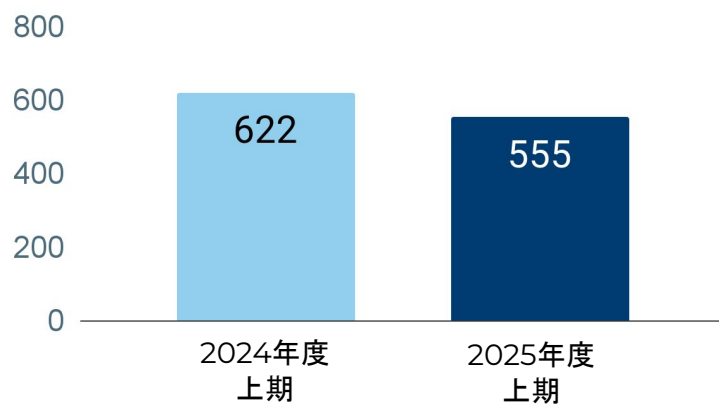
2025年12月期 中間連結業績概要(前年同期比較)

- ◆ 2025年の対前年比の売上減少は、用品事業売却による減少(PIAA売却)、一部自動車メーカーの生産調整の影響、メキシコ向け輸出の終了
- ◆ 売上減少影響を、インフレ影響への適切な対応、固定費削減、不調コスト低減、生産性向上策の推進で補い、結果として減収増益

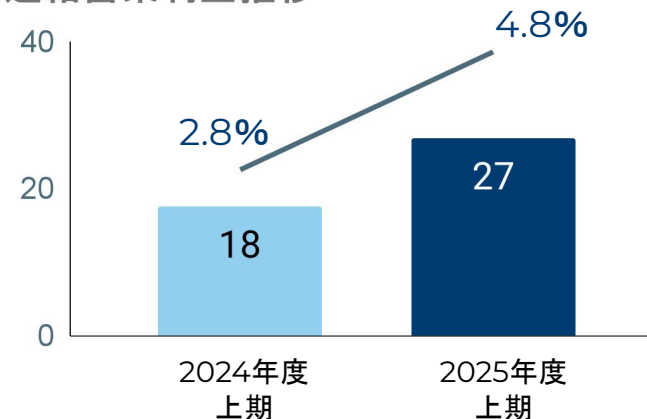
単位: 億円/四捨五入

	FY2024実績 (2024年1~6月)	FY2025実績 (2025年1~6月)	増減額 (前年対比)		増減率
売上高	622	555	①	▲66	▲10.7%
営業利益	18	27	②	9	52.7%
営業利益率	2.8%	4.8%	②/①	▲14.0%	2.0ポイント
経常利益	23	37		13	57.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	14	26		12	87.9%

連結売上高推移



連結営業利益推移



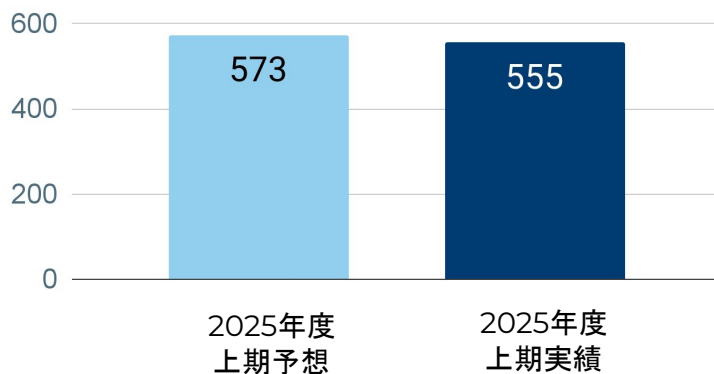
2025年12月期 中間連結業績概要(対予想比)

- ◆ 売上高: 日本は一部自動車メーカーの生産調整の影響、アセアンの市場減速により減収
- ◆ 営業利益: 売上減少や円安によるマイナス影響があるもの、生産性の向上、固定費削減による損益分岐点の低下、さらには当上期には RFQが遅延し開発コストが抑制されたことにより、目標を過達

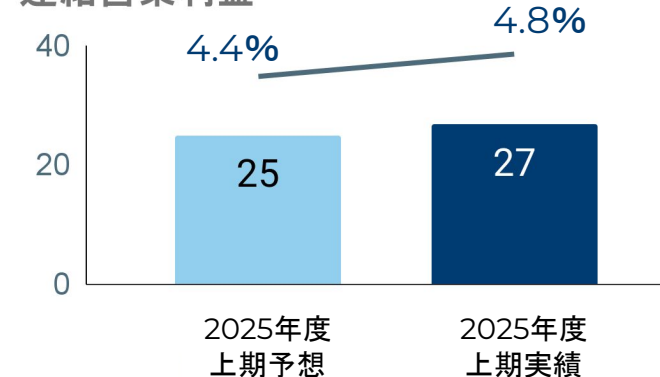
単位: 億円/四捨五入

	FY2025予想 (2025年1~6月) * 2025.2.14.東証発表	FY2025実績 (2025年1~6月)	増減額 (対予想比)		増減率
売上高	573	555	①	▲18	▲3.1%
営業利益	25	27	②	2	7.4%
営業利益率	4.4%	4.8%	②/①	▲10.5%	0.5ポイント
経常利益	30	37		7	22.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	17	26		9	52.8%

連結売上高



連結営業利益



2025年12月期中間 地域別業績(前年同期比較)

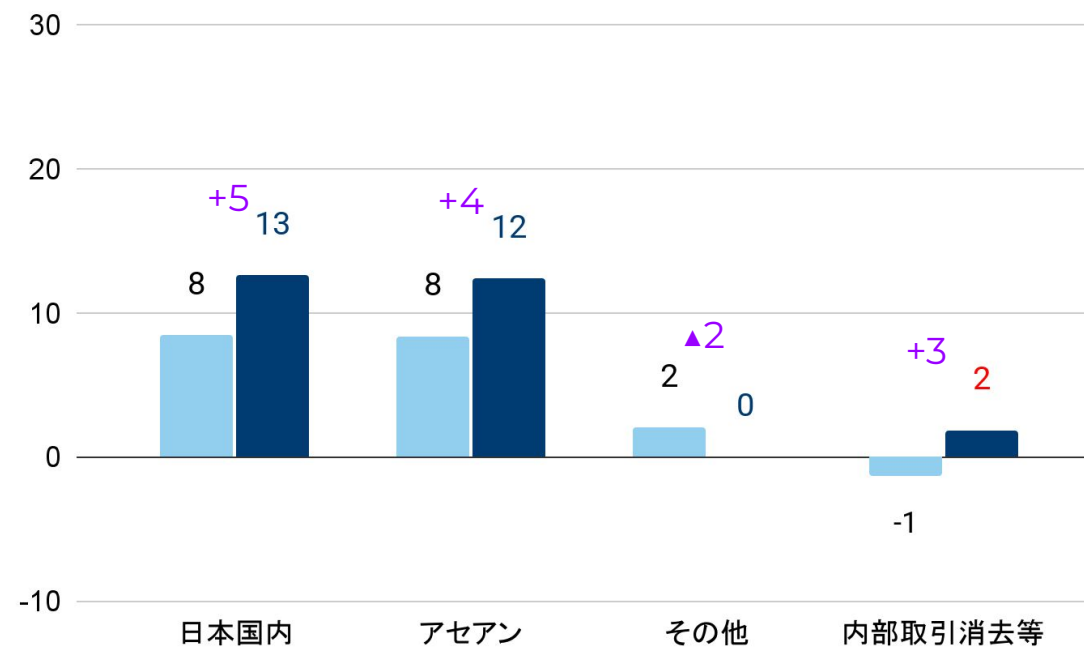
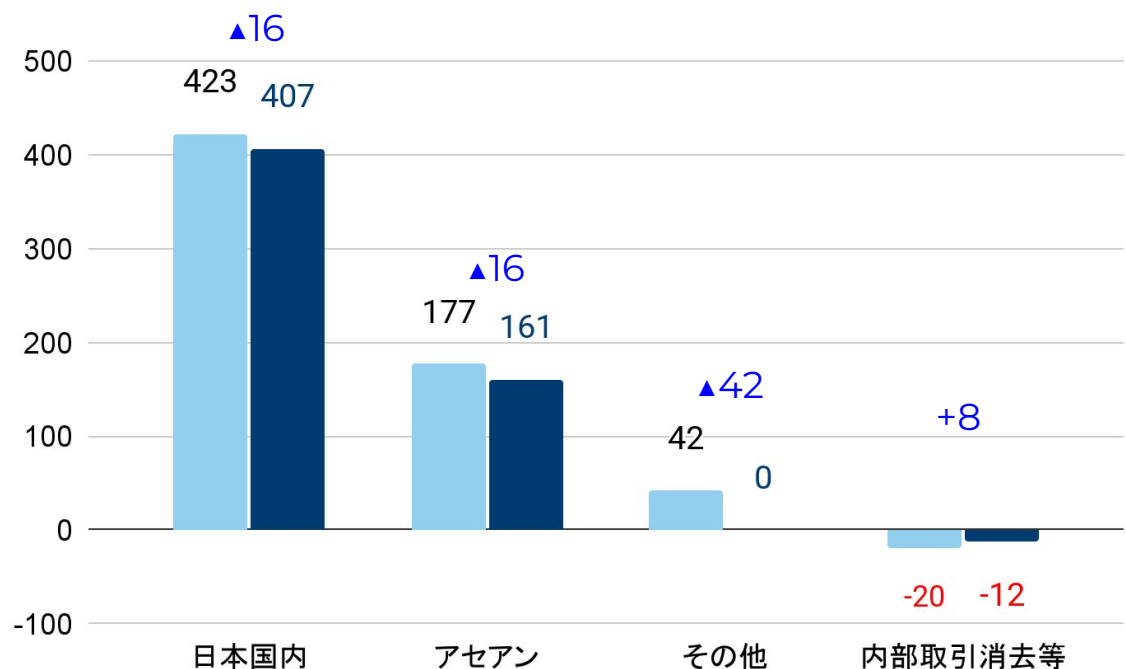
- ◆ 国内:一部自動車メーカーの **生産調整** はあるが、**インフレ影響への適切な対応**、**開発コストの抑制**、**生産性向上策の推進** により増益
- ◆ アセアン:アセアンの景気の低迷から **マーケット生産台数が減少し減収** となるが、**不良コストの改善** と**生産性向上** で増益

2024年12月期 中間 2025年12月期 中間

単位:億円/四捨五入

売上高 622⇒555(前期比 ▲66)

営業利益 18⇒27(前期比 +9)
営業利益率 2.8%⇒4.8%(前期比 +2.0ポイント)

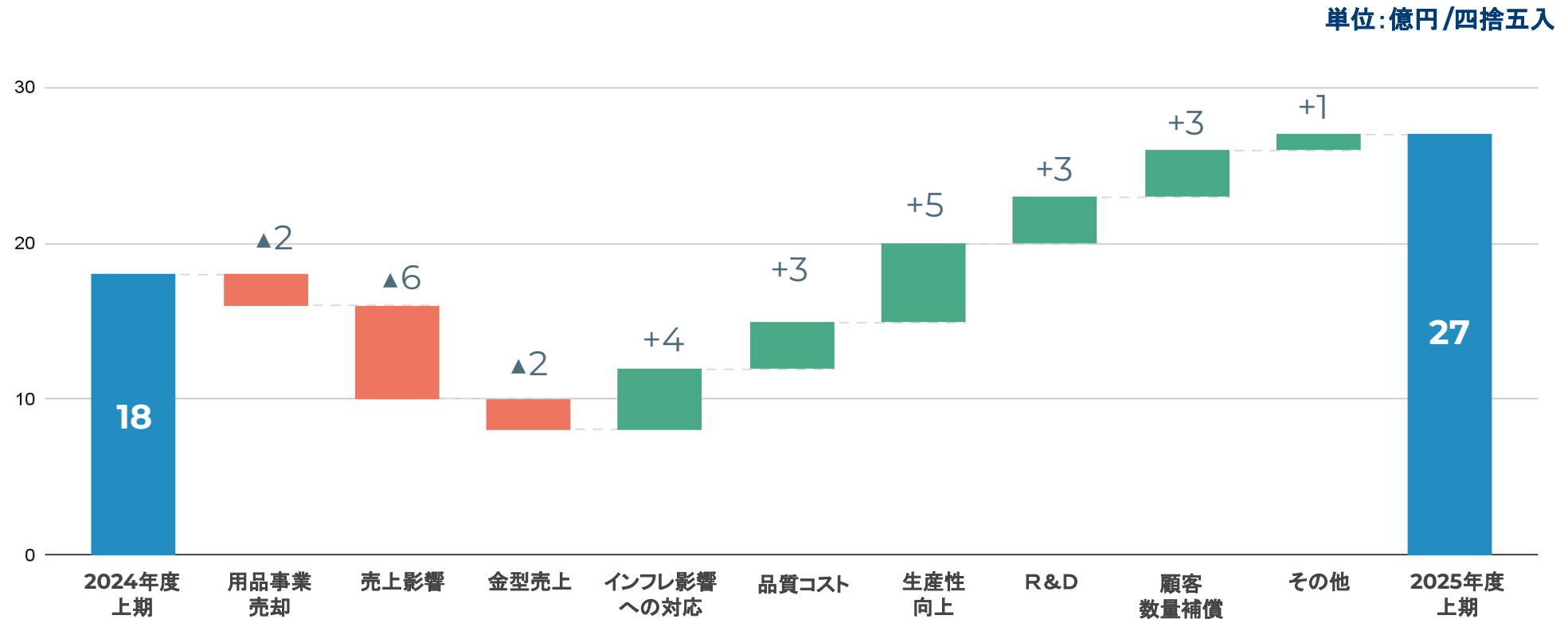


日本国内:伊勢原・藤岡・本社・九州市光(営業利益のみ)、アセアン:マレーシア・インドネシア・タイ、その他:用品事業(PIAA)

2025年12月期 中間業績のポイント(対前年同期比)

【営業利益】

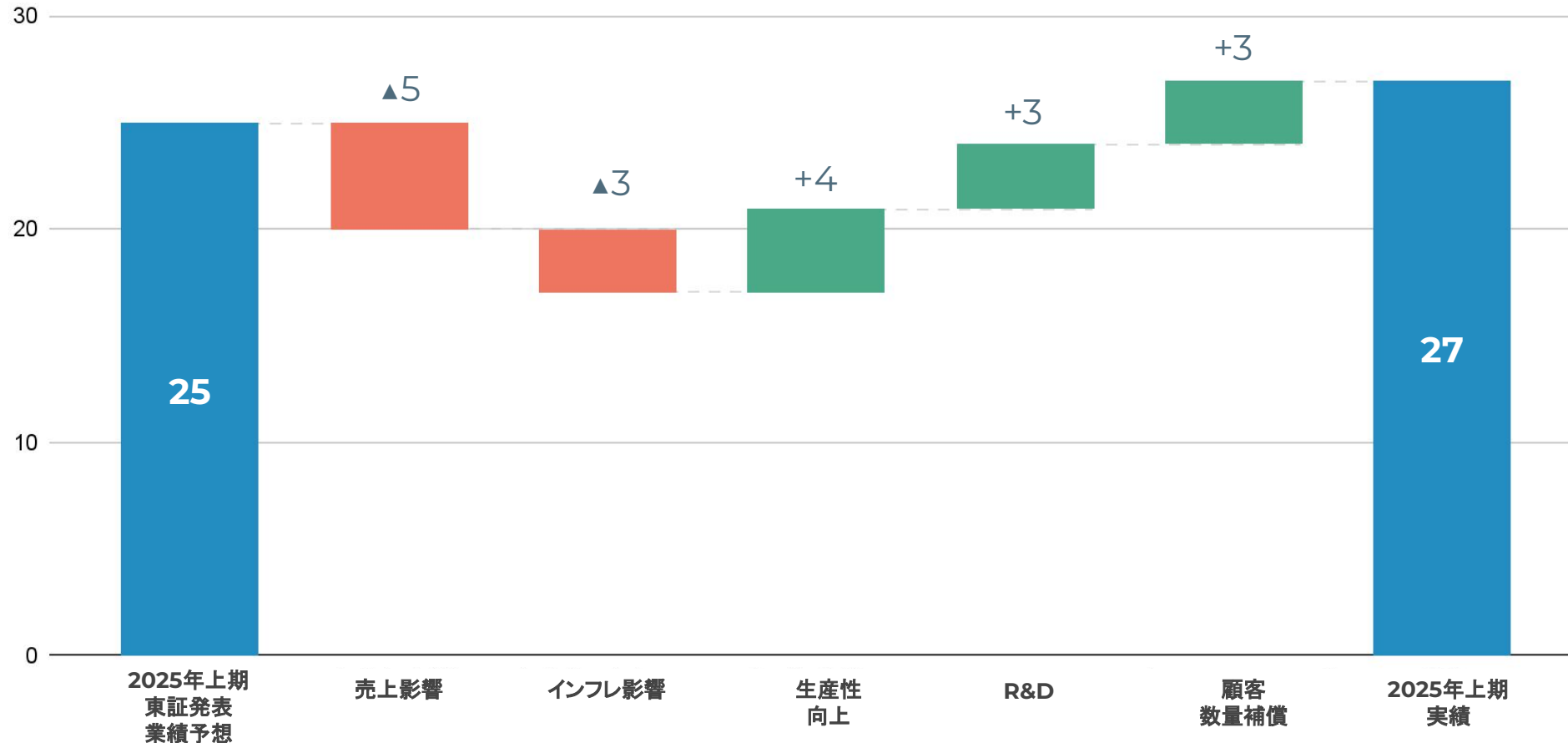
- ◆ 用品事業(PIAA)の売却や製品売上の減少による影響を、インフレ影響への適切な対応、顧客による数量補償、品質コスト改善、開発コストの抑制等で補完して増益



2025年12月期 中間業績のポイント(対予想比) 【営業利益】

- ◆ 製品売上の減少と円安によるインフレ影響を、生産性向上策の推進、開発コストの抑制、顧客による数量補償で補完し過達

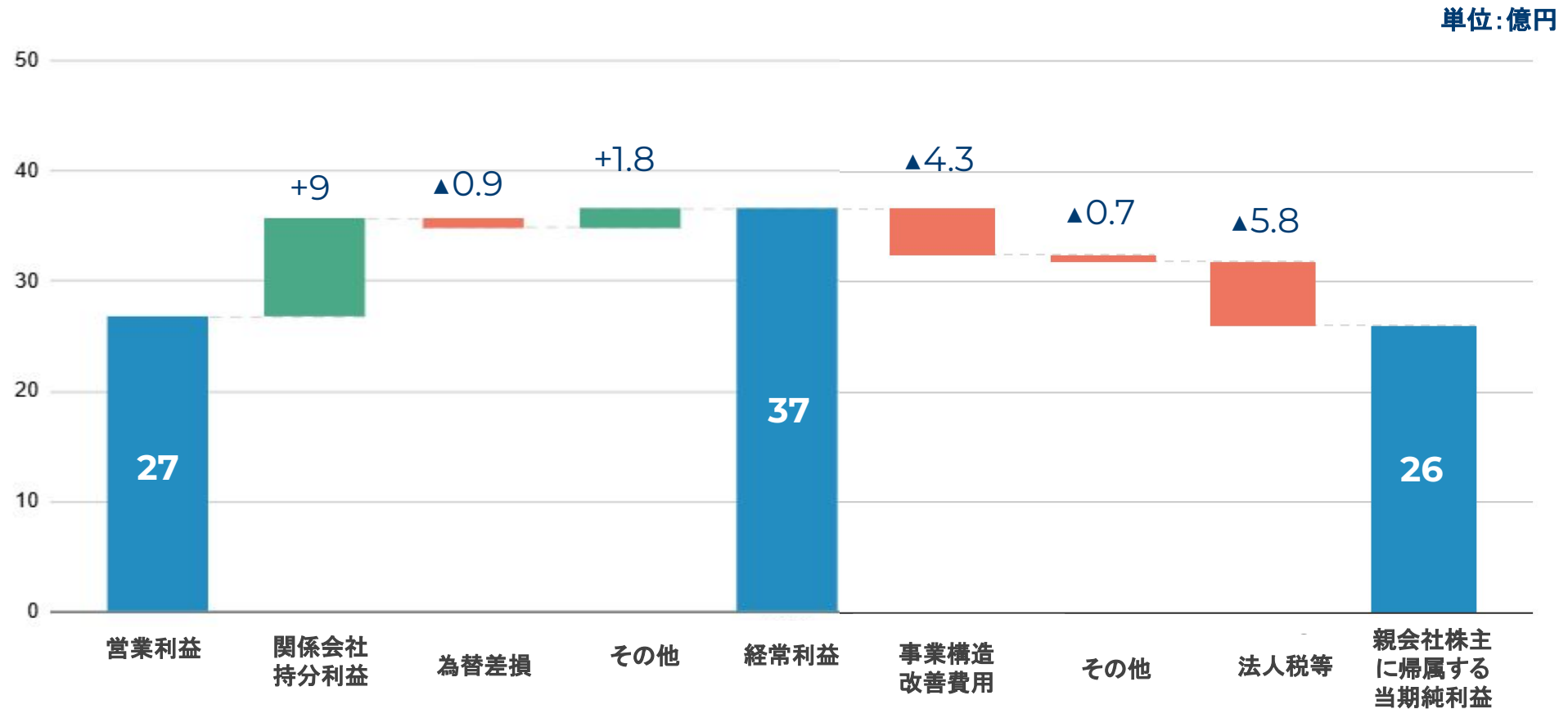
単位:億円/四捨五入



2025年12月期 中間業績のポイント

【営業利益～経常利益～親会社株主に帰属する当期純利益】

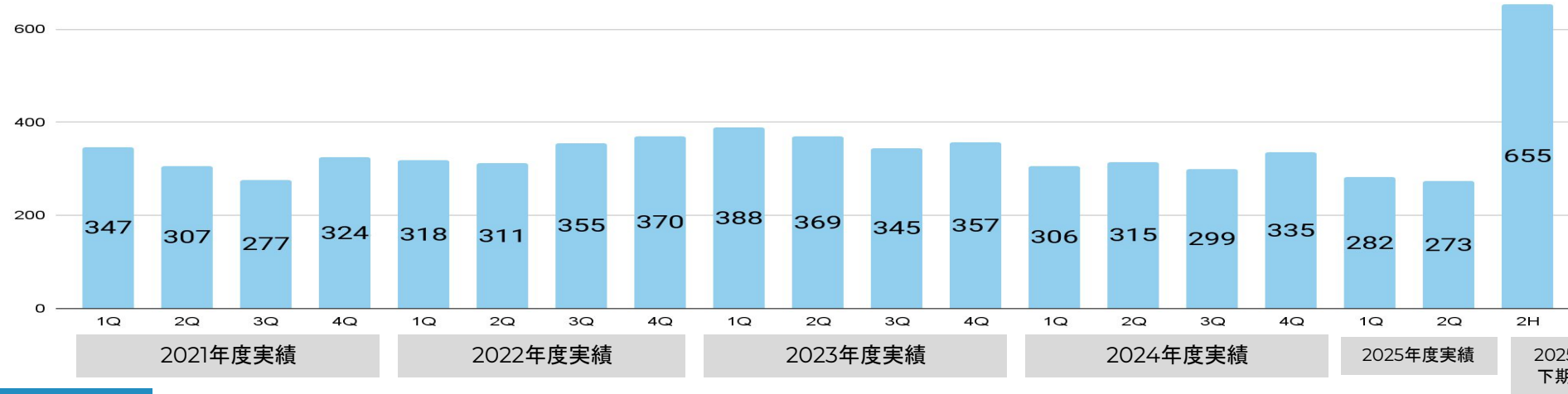
- ◆ ヴァレオ中国との在中國ライティング合併会社からの **持分利益が好影響**
- ◆ 構造改革のための当社及び海外の子会社の特別退職金を事業構造改善費用として計上



四半期 業績推移

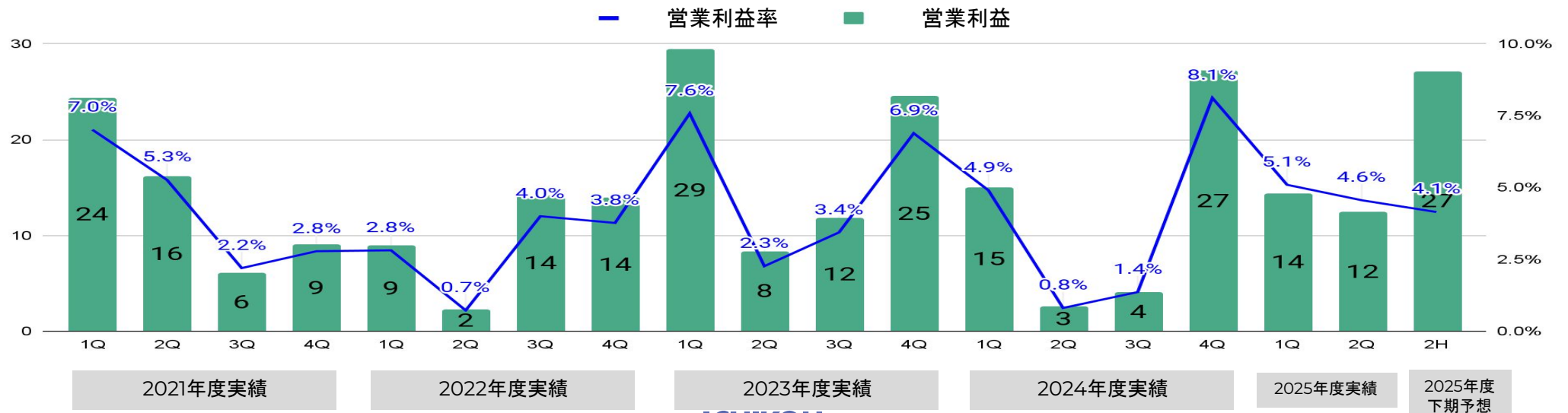
売上高

単位: 億円/四捨五入



営業利益

2025年上期の営業利益は安定的に推移



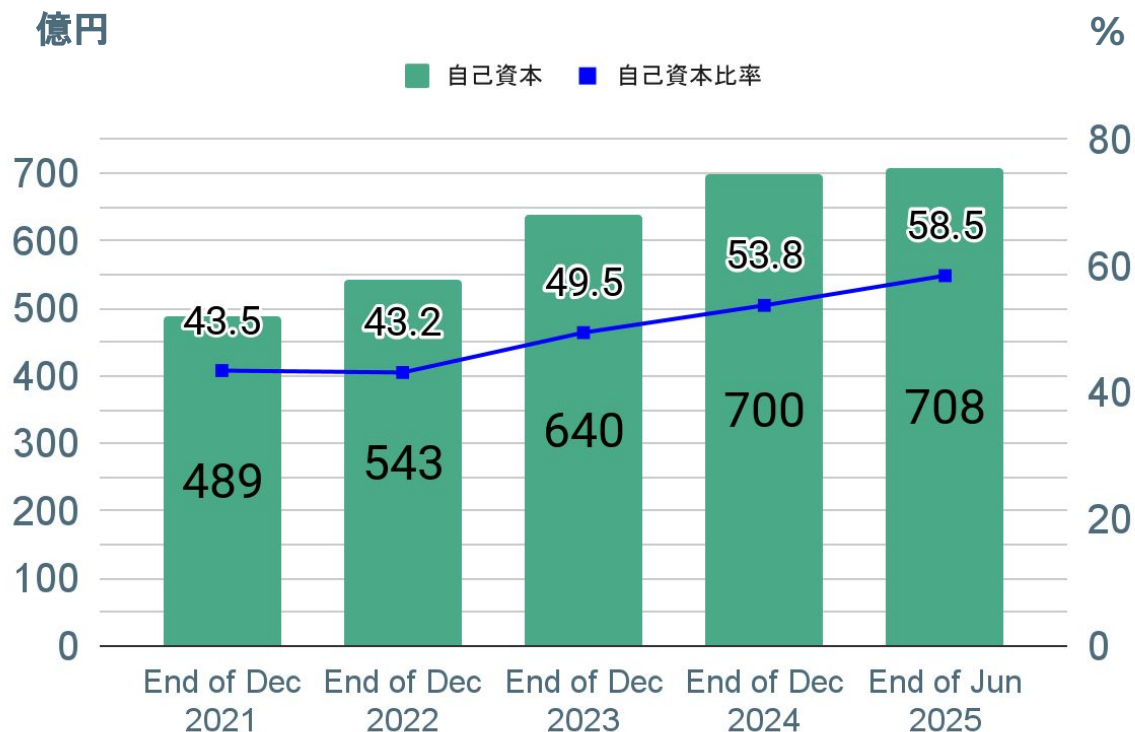
2025年12月期 中間 連結貸借対照表(前年度期末比)

単位:億円/四捨五入

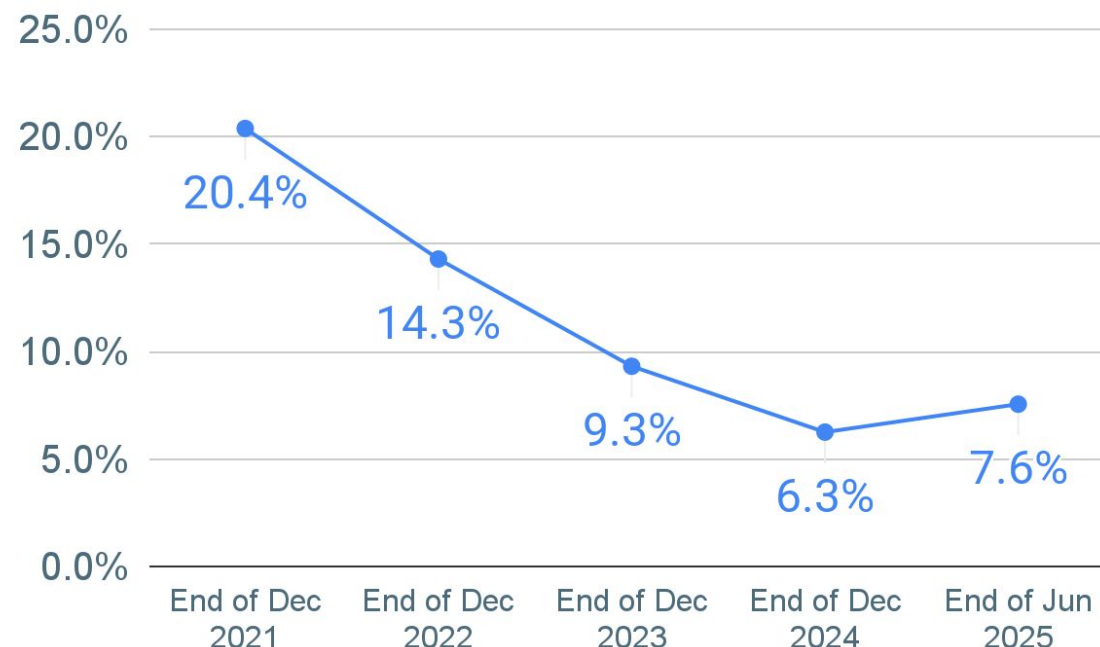
	2024/12	2025/6	増減
現金及び預金	126	120	▲7
売上債権	166	135	▲31
棚卸資産	88	98	11
短期貸付金	259	207	▲52
有形固定資産・無形固定資産	385	381	▲4
その他	276	269	▲7
資産の部	1,301	1,211	▲89
支払債務	306	261	▲45
有利子負債	44	54	10
その他	241	180	▲61
負債の部	591	495	▲97
株主資本	663	683	20
その他包括利益累計額	37	25	▲12
非支配株主持分	9	8	▲1
純資産の部	710	717	7

自己資本比率と D/E レシオ

自己資本比率は 50%を超えてさらに増加



D/E レシオはリース債務増加による影響



02 2025年12月期業績見通し (2025年1月～12月)

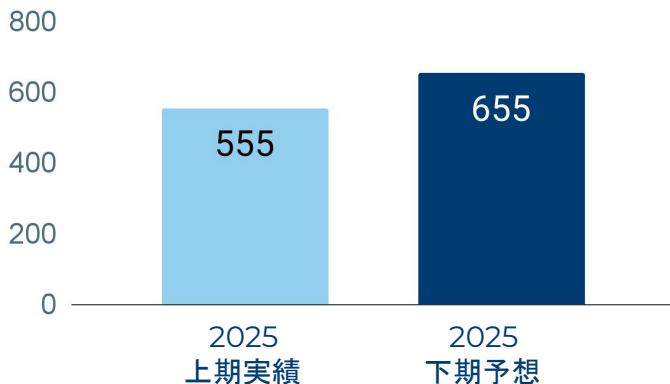
2025年12月期 連結 上期実績 vs 下期予想

- ◆ 一部自動車メーカーの生産数量など不透明感は多いが、**新車種の立ち上げと金型売上**により増収

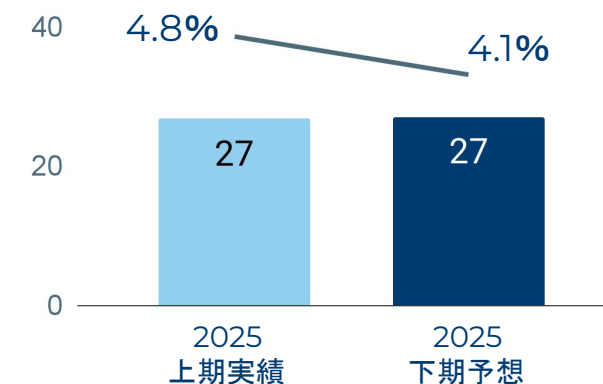
単位: 億円/四捨五入

	FY 2025上期実績 (2025年1~6月)	FY 2025下期予想 (2025年7~12月)	増減額 (前年対比)		増減率	FY 2025東証発表 (2025年1~12月) * 2025.2.14.東証発表
売上高	555	655	①	99	17.8%	1,210
営業利益	27	27	②	0	1.1%	54
営業利益率	4.8%	4.1%	②/①	0.3%	▲0.7ポイント	4.5%
経常利益	37	25		▲11.3	▲30.7%	62
親会社株主に帰属する当期純利益	26	13		▲12.9	▲49.8%	39

連結売上高推移



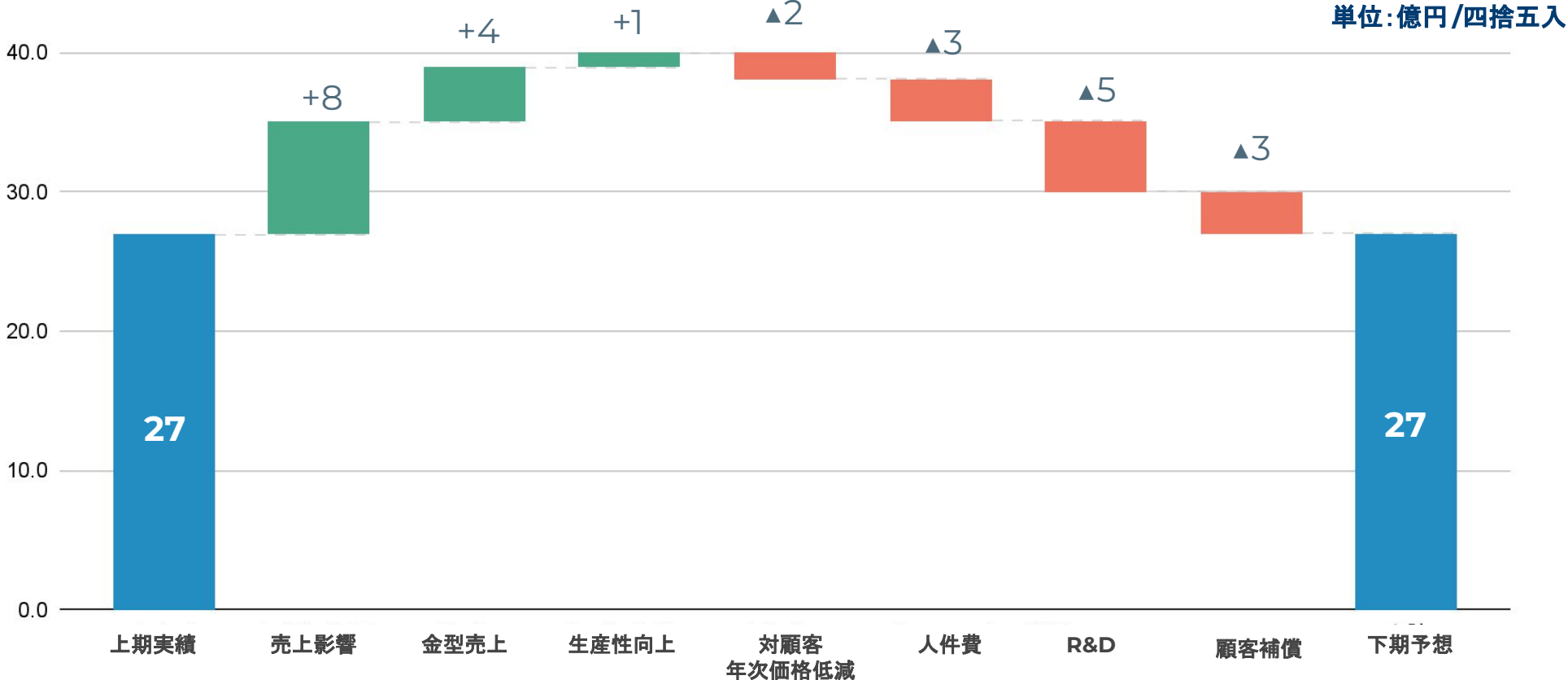
連結営業利益推移



2025年12月期 上期実績 vs 下期予想

【営業利益】

- ◆ 新規プロジェクトの **開発コスト増加**、**人件費増加**、**対顧客年次価格低減**、**上期に計上した顧客数量補償の剥落**を、**製品売上増加**および**金型売上増加**で補完し、**下期は上期と同等レベルの利益**を見込む

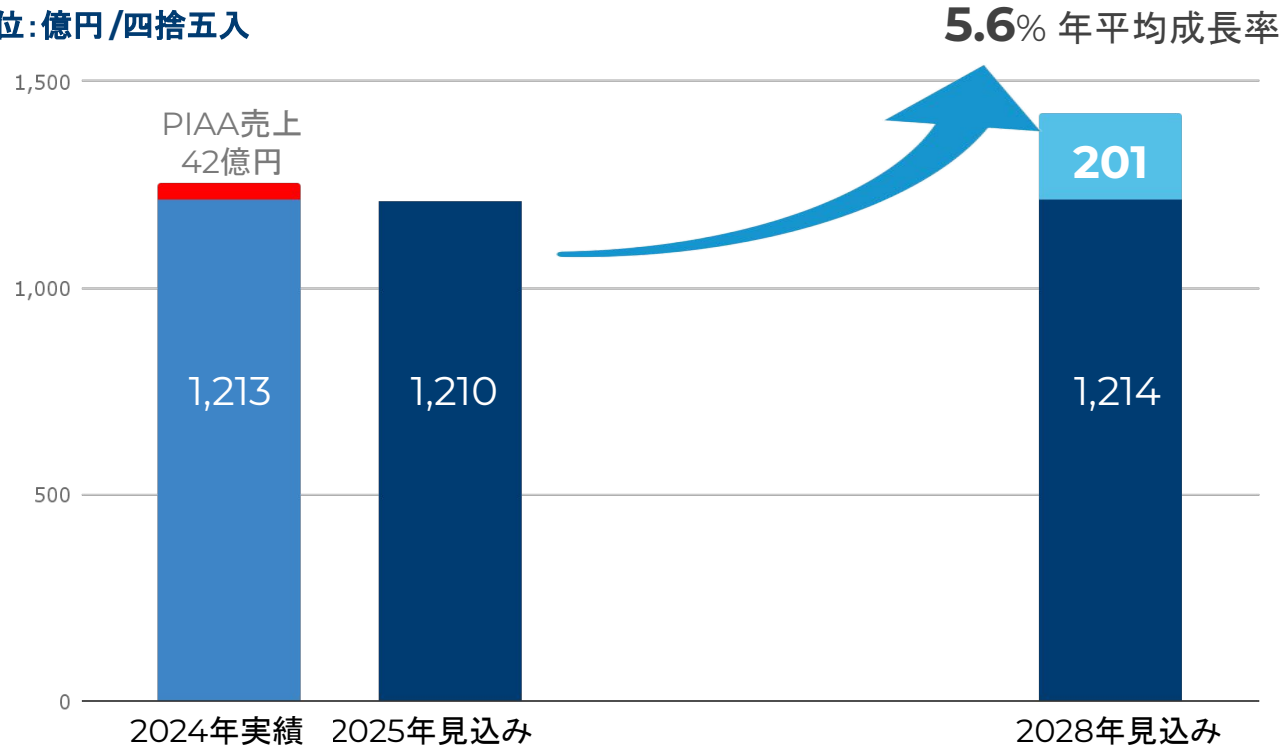


03 持続的な企業価値の向上に向けて

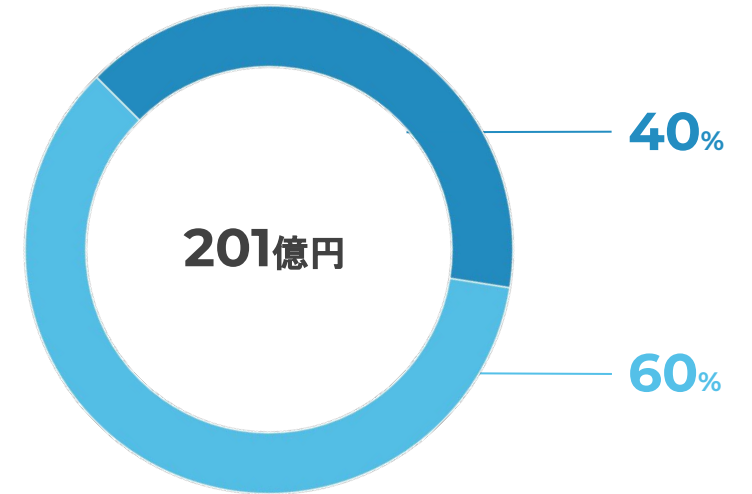
中期経営計画の概要 - インド事業は含まず

自動車業界は米国関税や一部 OEMの事業再編など非常に厳しい状況が続いているなか、市光は新規拡張分野を獲得して 2028年に向けて成長を達成

単位: 億円 / 四捨五入



新規拡張分野



- 新テクノロジー
- 新規顧客 & 新プロジェクト

成長戦略 - トランスフォーメーション計画

将来の成長への基盤強化フェーズ

成長達成フェーズ

1200億円～

売上高 安定的に確保

1400億円～

売上高 成長

成長戦略オプション

新規顧客 & 新プロジェクト

新テクノロジー

新テリトリー #1

新テリトリー #2

売上高
2028年影響額

120 億円

80 億円

90 億円*

検討段階

2024

2025

2026

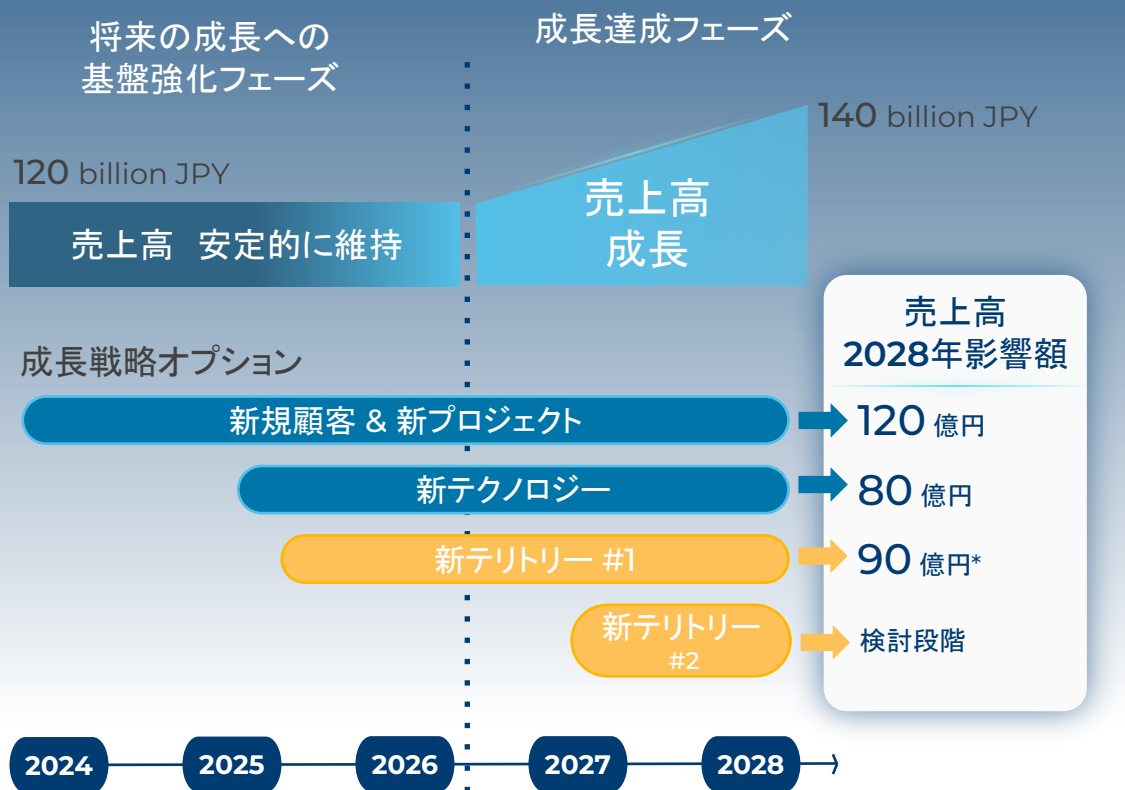
2027

2028

*2028年の売上目標1400億円には含まず

成長戦略 - トランスフォーメーション計画

成長の回復に向けて ...



*2028年の売上目標1400億円
には含まず

現状の立ち位置 ...

進捗状況:

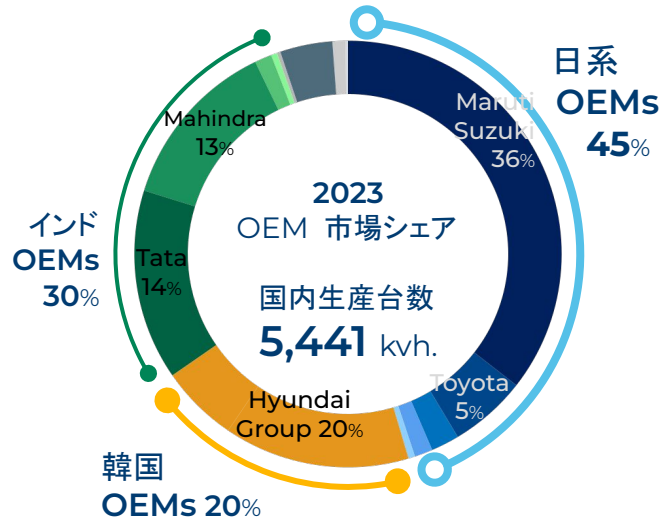
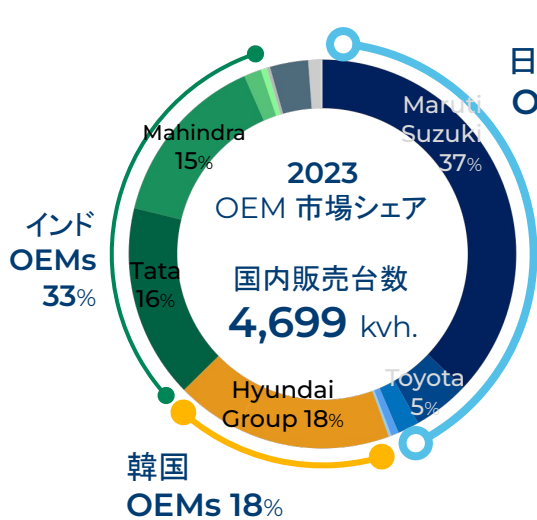
- ➔ **新規顧客 & 新プロジェクト:**
2028年に向けて90億円の契約をFord、Hyundai、Proton/Geelyと締結
- ➔ **新テクノロジー:**
2028年に向けてHDライティングおよびドライバで50億円確定済み
- ➔ **新テリトリー #1:**
インドのTACO社との合弁契約を8月5日付にて締結済み
VLSチェンナイ(ヴァレオインドアのライティング事業)を買収予定

成長戦略 - トランスフォーメーション計画

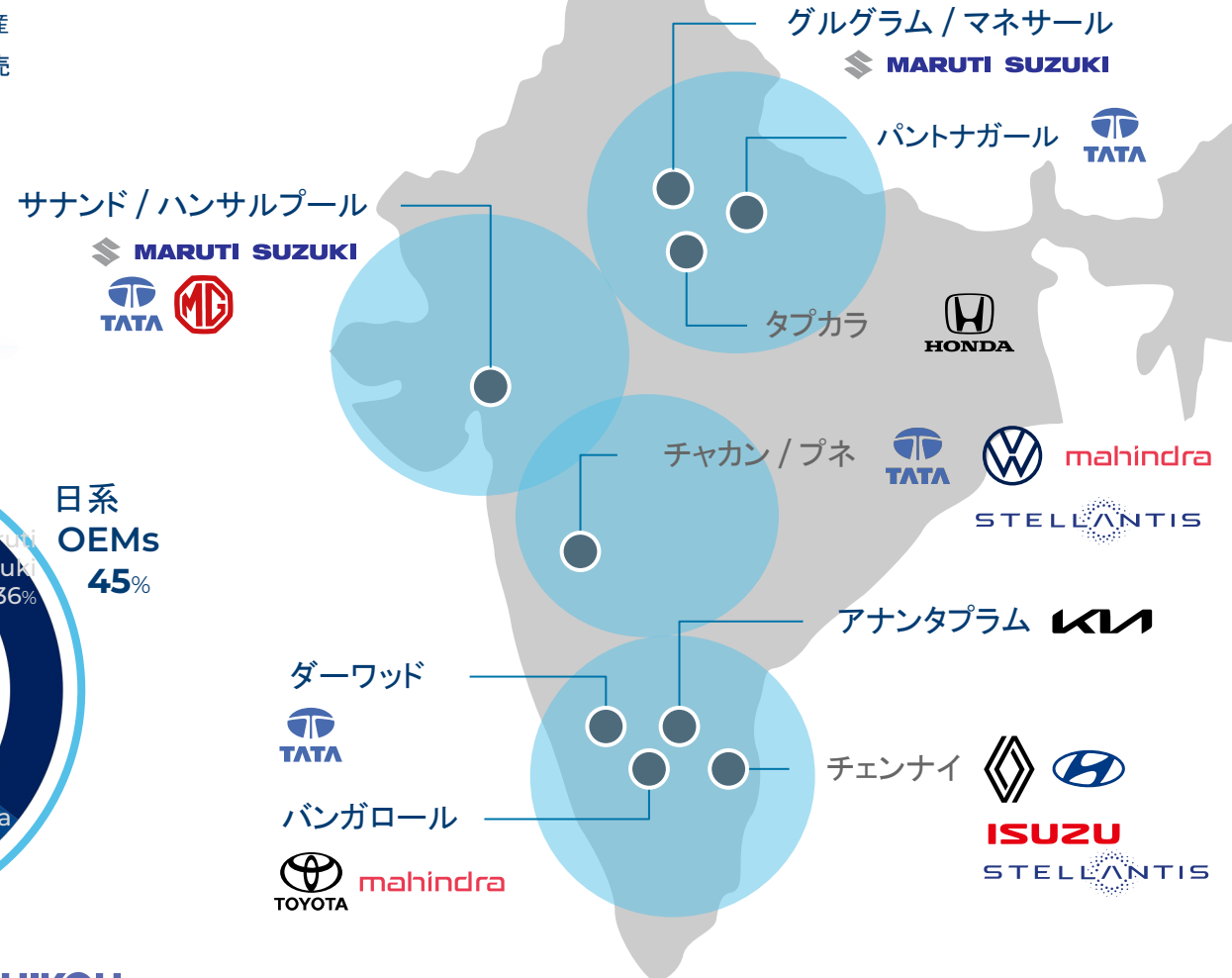
新テリトリー #1: インド



Source: 2018-2023 Marklines (Actual), 2024-2028 IHS Oct.2024




お客様 生産拠点




TATA グループ概要


TATA AutoComp (TACO) はTATA グループの自動車事業部門に属す
TACOは現在、インド第2位の自動車部品サプライヤー




TATA AUTOCOMP



1995 設立
自動車部品製造における 25年以上の業歴



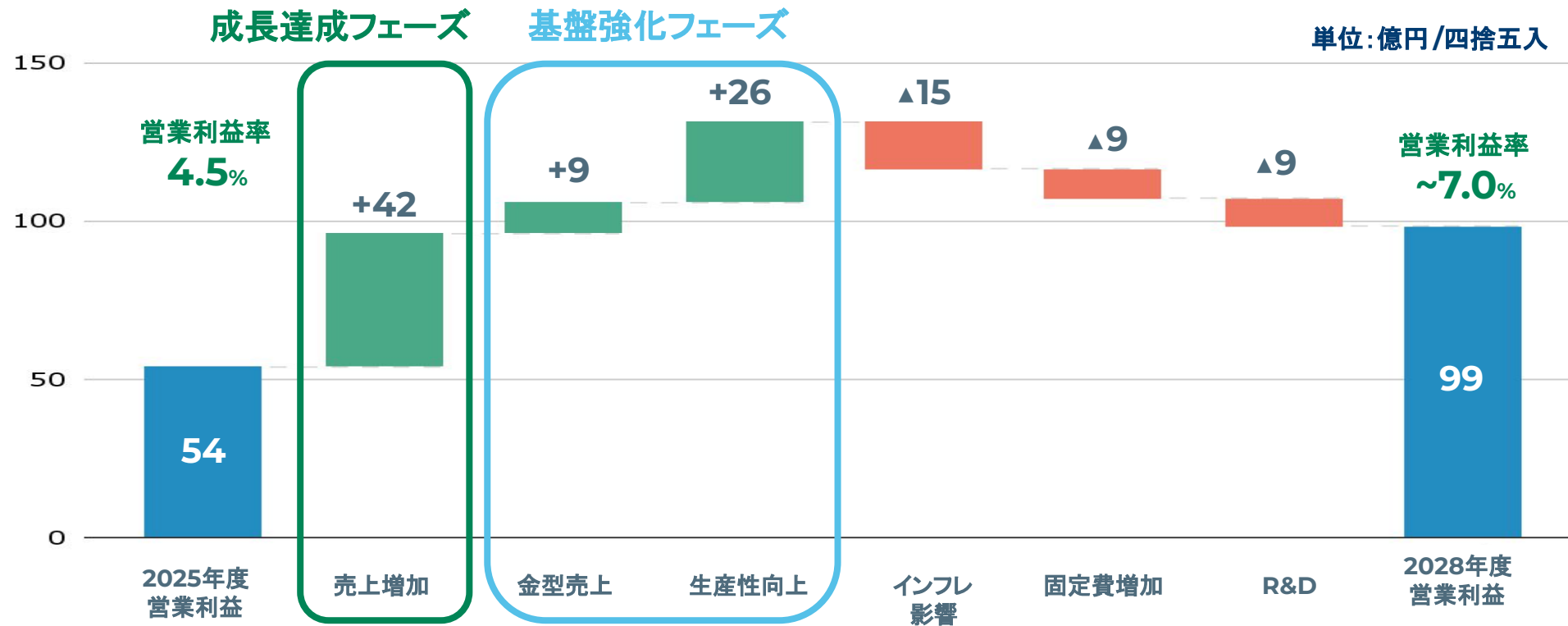
20,000+ 従業員
従業員の10,000名以上は平均勤続年数が8年以上



61 工場
インドにおける53の生産拠点



中期の見通し: 営業利益のポイント (2025年度 vs 2028年度)



予測に関する注意事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、市光工業株式会社（以下、当社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

ご利用に際しては、ご自身の判断で御願ひ致します。資料に記載されている見通しなどに基づいて投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失についても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は当社に帰属します。いかなる理由によっても当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

ICHIKOH
a Valeo company